

(参考)

1. インターン事業終了後の交流展開(事例)

(1) とよねサポーターズ(愛知県豊根村)

豊根村では、豊根村に関わり続け、交流を継続して進めながら様々なサポート活動等を行う任意団体「とよねサポーターズ」がインターンOB等により設立されている。

学生を中心とした主に20代のメンバーによって構成され、行事の手伝い、訪問・交流が続けられている。

(2) みやはら好きねっと(熊本県宮原町)

平成16年11月に「宮原好きネット」を設立。これまで宮原町に関わってきた体験調査員を含め、会員数は80名を超える。宮原町の情報発信、会員相互の交流・情報交換のほか、ゼミ合宿等を受け入れる主体として活動している。

また、TMO「宮原まちづくり(株)」の立ち上げに際してインターンOBが株主となり、企画・運営にも携わっている。

(3) 三浦梅園大使(大分県安岐町)

受け入れたインターンにより、安岐町と交流を持ちつづけるサポーター組織「三浦梅園大使」を創設。町の応援団としてPR効果の拡張などを狙っている。

(4) 竹田特派員制度(大分県竹田市)

受け入れたインターンを竹田市特派員として任命し、親善大使的な役割をしてもらうとともに、情報の相互交換を行う。また、本事業を通して知り合った学生が意見交換をする場としてインターネット上に掲示板を作成。活発に意見交換がおこなわれている。

2. その他

(1) 本事業を実施した市町村のうち、その後、独自のインターン受入事業を実施している事例。(福島県川俣町、愛知県豊根村、奈良県川上村、徳島県由岐町、熊本県小国町、大分県安岐町、大分県竹田市、宮崎県高崎町、宮崎県西米良村、鹿児島県大口市 等)

(2) インターン事業を契機に、その後派遣地に定住した事例。(熊本県小国町)